

多義語・言い切りの「た」の習得研究

石井 佐智子

学位取得年月：平成19年3月
 取得学位名：人文科学修士
 学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】中国語母語話者、韓国語母語話者、状況の局面
 【要旨】

言い切りの「た」の習得における母語の影響を明らかにするために中国語母語話者（以下CS）、韓国語母語話者（以下KS）を調査対象者とし、質問紙調査を行ったところ、CS、KSの両者間の回答に相違が見られた。どんな問題で両者に相違があるのか、カイ二乗検定を用いた後で、翻訳資料、CS、KSへのインタビュー、対照研究を照らし合わせながら、考察を進めた。その結果、(1)母語のテンス・アスペクトマーカーと言い切りの「た」が対応している場合、母語における状況の局面を目標言語においてもそのまま適用する、(2)中国語のマーカーと「た」が対応しないことは多いが、その場合CSは母語である中国語で状況の局面を理解し、日本語の知識を活用する、(3)ただし、テンスにおいては上記の通りではなく、母語にテンスがないとされるCSとテンスがあるとされるKS間で相違は見られず、テンスは習得しやすいことが窺われた。

(いしい さちこ)

子どもの母語を活用した学習支援における 母語話者支援者の意識変容のプロセス

宇津木 奈美子

学位取得年月：平成19年3月
 取得学位名：人文科学修士
 学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】探索的母語支援、母語話者支援者、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ、
 子どもの母語

【要旨】

言語少数派の子どもの学習支援における母語活用について否定的な意見が多い中で、実践を通して肯定的に変った母語話者支援者がいる。彼らの意識変容の要因を探ることを目的とし、インタビューデータを修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチで分析した。その結果、母語話者支援者は「子どもの母語力を探る」「国語に母語・母文化背景を生かす」ことで「オリジナル母語教材作成の工夫」をし、日本文化等わからないことは「日本語母語話者支援者と連携する」ことで解決し、「子どもの目線になる」ことで、教える立場から共に学ぶ立場へと変容していった。以上のことから、意識の変容の要因は「探索的母語支援」を行ったことであると示唆された。

(うつき なみこ)